

「都市祝祭 - 歴史地理学者にはどう見えるのか? - 」

■ 開催情報

【開催場所】 佛教大学宗教文化ミュージアム 宗教文化シアター

【開催日時】 2021年7月18日(日) 午後1時 ~ 午後5時頃

(開場: シアター / 12時30分 ・ 第2会場 / 12時45分)

■ 趣旨説明

現代日本の都市社会を背景とした祭りは、祇園祭のように宗教性や行事内容の不易、伝統性を強調しながら現代に至るまで伝えられる祭礼、時代祭など近代以降に創造された博覧会的イベント、よさこい祭りや神戸まつりなど戦後に地域活性化を目的に創造されたイベントに大別されるという。現在では、そのいずれもが濃淡はあれど、観光開発や地域振興などと不可分な関係を持ちながら運営されている。ことに都市における祝祭性をめぐっては、各地の祭りや年中行事のほか、近代オリンピックや万国博覧会、巨大テーマパークや百貨店における消費行動といったようなハレ(非日常)の側面がみられる諸現象を事例に多くの議論が展開されてきた。そこで、本シンポジウムでは都市祭礼を事例とし、都市祝祭にみられるハレの場が出現するにあたっての空間的特徴や空間構造、祭りの構成員と観客の変化、祭り関係者としての立場・経験等を導きとして、複眼的な視点から都市祝祭について議論し、歴史地理学がどのように向き合えるのかを検討してみたい。

■ タイムスケジュール

13:00 館長挨拶 / 趣旨説明

13:10 研究発表1 内田忠賢氏(奈良女子大)

「戦後復興の中で創出された都市祝祭とその後の展開」

14:10 研究発表2 三隅貴史氏(関西学院大)

「地域住民 - 地域外参加者関係からみる江戸・東京の祭礼史」

14:40 研究発表3 佐藤弘隆氏(立命館大)

「近代京都の都心部における持ち家率低下に伴う祇園祭山鉾行事への影響」

15:10 休憩

15:30 コメント 網島 聖氏(佛教大)

15:45 統括 八木 透氏(佛教大)

16:00 総合討論

16:50 閉会挨拶 山村亜希氏(京都大 / 歴史地理研究部会:世話人代表)

17:00 閉会

【お願い】 シンポジウム視聴時は、zoomのマイクおよびビデオの利用をOffに設定してください。